

3月6日

新型コロナウイルスによる感染症予防のため、学校が臨時休校となって、4日目となりました。保護者の方におかれましては、臨時休校に伴い急な対応をお願いすることになり、誠に申し訳ございません。子供達の家庭等での過ごし方はいかがでしょうか。子供達の心配なことがあれば、学校にご連絡いただければと存じます。

このような事態となり、子供達も大変戸惑っていることと存じます。その中でも最も不安を抱えているのが卒業式を迎える予定の6年生であろうと思います。

卒業式は、他市では中止のところも見られるようですが、流山市では、式の内容を縮小して実施することになっております。それを受けて、6年生は、2日の5・6校時に、最初で最後の卒業式練習を行いました。戸惑いながらも昨年度見ていた卒業生の姿をイメージしながら、呼名や証書の授与の動きなどをがんばっていました。

練習終了後、私から6年生に以下のような話をしました。

「今から、10年後はどのような未来になっていると思いますか。

AIと呼ばれる人工知能が普及され、生活がより便利になっているかもしれません。空飛ぶ車や自動運転が普及し、交通事故がなくなっているかもしれません。医療技術がより発達し、長生きする方が増えてくるかもしれません。一方で、新型コロナウイルスによるこのような事態は予測することはできません。このような予測できないことに嘆くことなく、どうしていけばよいか前向きに考えていくことが大切だと思います。皆さんならそれができます。それは、これまでの6年間、先生方、保護者の方、地域の方等から教えてもらいながら、頑張ってきたからです。私は、皆さんに大いに期待しています。それは、これまでの小学校生活で頑張っている皆さんをいつも見てきたからです。

入学式やにこにこ活動では、異学年の子達に対する優しい態度で接し、各部活動では、日頃から一生懸命に練習に取り組み、その成果を遺憾なく発揮し、運動会や委員会活動では、学校を支えるリーダーとしての意識を持って頑張り抜いていた姿を見ることができました。また、修学旅行や普段の授業の中では、学年・学級の仲間と協力し合い、困ったことも自分たちで解決していく姿も見ることができました。

そんなみなさんからは、未来を切り開いていくために必要な力である『清き心、強き心、正しき心』が、着実についてきています。

中学校では、本校で培った『清き心、強き心、正しき心』をもとに、さらに自分を高めていってください。」

子供達は、真剣なまなざしで私の話を聞いていました。

これまで、学校のリーダーとして頑張ってきた6年生の姿を、職員及び在校生は記憶にとどめていくことと思います。これまで紡いできた江戸小の良き伝統を、大切にしていきたいと思います。

卒業証書授与式では、6年生の堂々たる旅立ちを、職員一同しっかりと見守っていきたいと思います。

流山市立江戸川台小学校 校長 上原 和浩